

# 東奥日報

2021年(令和3年)5月7日(金曜日) (10)

## アオモリの 作りの手たち

「社会にアートを介入させたい。どう関われば社会にいい影響をもたらすのか」とも思いつく。バラン、又地味な見つけたい」

八戸市の美術家・東方悠平さん(38)は現在、文化庁の派遣芸術家海外研修制度の研修員に採択され、ベトナム・フエに滞在している。コロナ対策のための消毒剤を廃棄、本紙のオンライン取材に要する時間を、11月までの滞在中、現地のアーティストが運営している「アート・カフェ」などの地域の人とのように関わっているのを感じ、アート・プロジェクトをサテライト・アート・プロジェクトとして進めている。

「社会にアートを介入させたい。どう関われば社会にいい影響をもたらすのか」とも思いつく。バラン、又地味な見つけたい」

八戸市の美術家・東方悠平さん(38)は現在、文化庁の派遣芸術家海外研修制度の研修員に採択され、ベトナム・フエに滞在している。コロナ対策のための消毒剤を廃棄、本紙のオンライン取材に要する時間を、11月までの滞在中、現地のアーティストが運営している「アート・カフェ」などの地域の人とのように関わっているのを感じ、アート・プロジェクトをサテライト・アート・プロジェクトとして進めている。

## アートで社会見つける

「社会にアートを介入させたい。どう関われば社会にいい影響をもたらすのか」とも思いつく。バラン、又地味な見つけたい」

八戸市の美術家・東方悠平さん(38)は現在、文化庁の派遣芸術家海外研修制度の研修員に採択され、ベトナム・フエに滞在している。コロナ対策のための消毒剤を廃棄、本紙のオンライン取材に要する時間を、11月までの滞在中、現地のアーティストが運営している「アート・カフェ」などの地域の人とのように関わっているのを感じ、アート・プロジェクトをサテライト・アート・プロジェクトとして進めている。

「社会にアートを介入させたい。どう関われば社会にいい影響をもたらすのか」とも思いつく。バラン、又地味な見つけたい」

八戸市の美術家・東方悠平さん(38)は現在、文化庁の派遣芸術家海外研修制度の研修員に採択され、ベトナム・フエに滞在している。コロナ対策のための消毒剤を廃棄、本紙のオンライン取材に要する時間を、11月までの滞在中、現地のアーティストが運営している「アート・カフェ」などの地域の人とのように関わっているのを感じ、アート・プロジェクトをサテライト・アート・プロジェクトとして進めている。



滞在先のベトナム・フエの街角に立つ東方悠平さん(本人撮影)

くわがしかた・ゆうへい 1983年、札幌市生まれ。八戸市在住。北海道教育大学札幌校芸術文化課程美術コース卒業。筑波大学大学院芸術学研究科修士課程修了。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。2010年、第13回岡本太郎現代芸術賞受賞。17年に八戸市で「A I R - H」を立ち上げ、アーティスト・イン・レジデンス(A I R)プログラムの企画運営を行う。国内外でのアートプロジェクト、個展・グループ展多数。現在、令和2年度文化庁派遣芸術家海外研修制度の研修員としてベトナム・フエに滞在中。八戸工業大学感性デザイン学部講師。

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」